

## 案件

# 枚方市公共施設マネジメント推進計画等の改訂について

行革推進課

## 1. 政策等の背景・目的及び効果

平成29年3月策定の「枚方市公共施設マネジメント推進計画」及び令和3年3月策定の「個別施設計画（総合編）」（以下、併せて「現計画」という。）について、いずれも計画期間が令和9年3月までのため、改訂に向けた取組を進めており、その進捗状況を報告するものです。

### （1）現計画策定の背景

総務省が平成26年4月に示した「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」では、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要とされており、令和7年3月時点で公共施設等総合管理計画は全ての団体で策定済です。

## (2) 今後、想定される公共施設を取り巻く社会情勢の変化

改訂後の計画期間は20年間とする予定で、その間に想定される様々な社会情勢の変化を踏まえて、検討を進める必要があります。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の老朽化</li> </ul>	<p>次期計画期間の終期となる令和28年度においては、建築物の建替えの目安となる築後60年を迎えている施設が全体の約60%を占めることになるため、次期計画期間における施設再編の取組が必要となる。(下図)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口減少</li> <li>・ 少子高齢化</li> </ul>	<p>今後の人口構成や市民ニーズの変化、民間サービスの状況に応じ、教育環境や保育環境の適正化や、市民活動の活性化が図られる機能を備えるなど柔軟に対応していく。特に小中学校においては単学級化や小規模校化による教育環境への影響が懸念される。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市税収入の減少</li> <li>・ 物価高騰</li> </ul>	<p>長期財政の見通し(令和8年2月)においては、高齢化の進展などによる納税義務者数の減少により、市税収入については緩やかな減少が見込まれている。また、2020年比で物価は約12%上昇※しており、施設の適正な維持管理や改修・更新に要する経費への影響が懸念される。</p> <p>※総務省統計局 2020年基準 消費者物価指数 全国 2026年2月分より</p>

図：市有建築物の老朽化割合



これらのことから、将来にわたり市民サービスを持続的に提供していくためには、現存する公共施設の総量や機能を現状のまま維持し続けていくことが困難となる状況を想定し、人口構成や財政状況に応じた施設総量となるよう、施設再編の取組を進めていく必要があります。

### (3) 市民アンケート結果

#### ①今後の公共施設のあり方について

調査期間：令和7年7月1日～7月31日

対 象：市民（住民基本台帳から満18歳以上）

回 答 数：688

結果概要：将来に向けた公共施設のあり方に関して、「複合化・多機能化」「広域化」「長寿命化」「民間連携」「地域管理」「売却・貸付」の6項目について、「実施すべき」か「実施すべきでない」かをお聞きしました。その結果、6項目すべてについて、「積極的に実施すべき」及び「どちらかといえば実施すべき」を合わせた「実施すべき」の回答が7割以上を占めています。（集約結果は資料3のとおり）

## ②市民の公共施設に対する意識に関するアンケート

調査期間：令和7年7月22日～8月6日

対 象：市政モニター

回 答 数：380

結果概要：公共施設の老朽化や建替えに関心がある方が多いものの、公共施設マネジメントに係る市の取組に関しては、「知らない」という回答が9割以上を占めました。また、公共施設の総量の最適化に関しては、「今のペースだと遅いと感じるのでもっと積極的に進めるべき」という回答が全体の約2割以上を占め、「このまま、できるところから進めていくべき」という回答が全体の約6割を占めました。（集約結果は資料4のとおり）

## 2. 検討を進めている改訂内容

### （1）計画の構成

#### ① 枚方市公共施設マネジメント推進計画【改】

計画期間は20年間とする。総務省指針や大阪府依頼文に基づき、「公共施設等の現況及び将来の見通し」や「公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針」を記載する。

② 枚方市公共施設再編方針【改】 ※「個別施設計画（総合編）」を改称

計画期間は20年間とする。「長寿命化の推進」や「施設総量の最適化」を具体化するものとして施設分類別方針や施設評価手法を記載する。

③ 公共施設の適正配置に係る将来ビジョン【新】

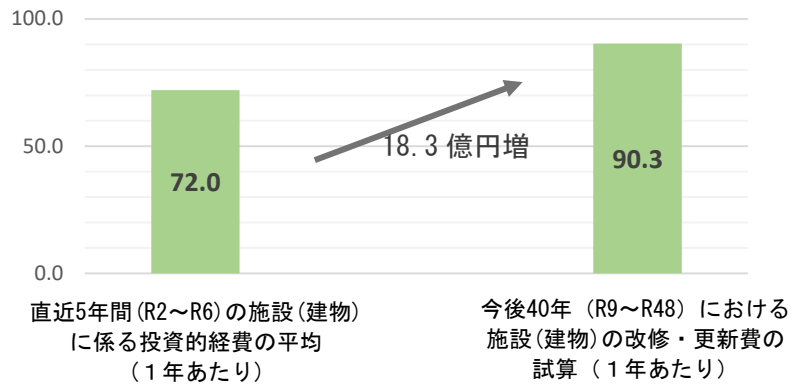
人口減少が進む将来の公共施設のあるべき姿を見定め、最適配置に向けた考え方を示す。

(2) 施設総量の最適化に係る数値目標と取組方針

○数値目標

今後の人口構成や財政状況に応じた施設総量としていくにあたり、施設総量最適化に係る数値目標を定めます。

直近5年間の投資的経費のうち、施設（建物）に関する費用の1年あたりの平均は約72億円です。今後40年間において、物価上昇を踏まえ、現施設（建物）をすべて改修・更新していく費用を試算すると1年あたりの平均が約90.3億円となり、年間約18.3億円のギャップが生じます。



・費用の削減割合

$$18.3 \text{ 億円} \div 90.3 \text{ 億円} = \text{約} 20.3\%$$

・縮減を見込む面積 (40年間)

$$780,000 \text{ m}^2 \times 20.3\% = \text{約} 15 \text{ 万} 8,000 \text{ m}^2$$

(令和7年3月時点の延床面積)

次期計画期間 (20年間) における数値目標案 : 延床面積80,000m<sup>2</sup> (約10.3%) の縮減

○取組方針

数値目標の達成に向けた取組方針を定めます。

①老朽化が進み、公共施設の過半数を占める小中学校の再編を最優先に実施

(学校規模等適正化基本方針と整合を図る)

②学校再編に当たっては、延床面積・コストの縮減、サービスの維持・向上につながる周辺施設等の複合化・集約化を合わせて検討

③現行計画期間内において、利用率が概ね50%以下、個別の課題が生じている施設については、維持内容を見直し、または再編を検討

- ④市民ニーズの変化や民間サービスの状況に応じて複合化や集約化、廃止を検討
- ⑤再編によって機能を廃止する施設用地は、再編と合わせて売却や貸付を基本として検討
- ⑥各施設の保全改修については、上記①～⑤の検討・見直しを踏まえて実施

### (3) 施設分類別方針

「集会施設」や「図書館」、「小学校」といった施設分類ごとに、利用者属性や今後の利用者数の見込みなど、それぞれの特性に応じた方針を定めます。現時点の検討内容は資料1のとおりで、令和9年3月の改訂に向けて、記載項目や内容の充実を図ります。また、5年ごとに見直しを行います。

### (4) 公共施設の適正配置に係る将来ビジョン

人口減少が進む将来の公共施設のあるべき姿を見定め、最適配置に向けたロードマップとするとともに、概ね40年後のまちの姿を描きます。現時点の検討内容は資料2のとおりで、今後内容を充実させ、委員協議会で報告する予定です。

### 3. 実施時期等（取組スケジュール）

令和8年5月	総務委員協議会
8月	総務委員協議会（計画素案について）
11月	総務委員協議会（計画案について）
12月	パブリックコメント
令和9年2月	総務委員協議会（計画案について）
3月	策定

### 4. 総合計画等における根拠・位置付け

- ① 総合計画 計画の推進に向けた基盤づくり  
計画推進3 持続可能な行財政運営を進めます
- ② 行財政改革プラン2024



### 5. 関係法令・条例等

公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針（総務省・平成26年4月22日策定(令和5年10月10日改訂)）

公共施設再編計画の策定について（依頼）（大阪府・令和5年9月4日付）

## 6. 事業費・財源及びコスト

《事業費》 6, 556 千円

支出内訳 公共施設マネジメント推進計画改訂等支援業務委託（令和8年度）

## 施設分類別方針（案）

施設分類ごとに、計画期間(令和9年度～令和28年度)における施設再編の方向性を示します。

## ○施設(建物)の再編の方針一覧

	表記	説明
施設(建物)は「 <b>廃止</b> 」	(廃止後)売却・譲渡・貸付	ニーズの乏しい機能や民間事業者にて代替可能と判断した機能について、施設(建物)とともに廃止する。施設(建物)は必要に応じて除却、その後、民間事業者等へ <b>売却・譲渡・貸付</b> を行う。
	集約化(される側)	単体の施設(建物)として運営していくよりも、機能を同種の他施設へ集約した方がより効率的・効果的な行政サービスの提供が見込まれる場合は、施設(建物)を <b>廃止</b> し、機能を他施設へ <b>集約化</b> する。
	複合化(される側)	単体の施設(建物)として運営していくよりも、機能を異種の他施設へ複合した方がより効率的・効果的な行政サービスの提供が見込まれる場合は、施設(建物)を <b>廃止</b> し、機能を他施設へ <b>複合化</b> する。
	建替	今後も継続した行政需要が見込まれる場合は、施設(建物)は一旦 <b>廃止</b> するが、 <b>建替</b> (再整備)を行う。その際、同種機能の集約化や異種機能の複合化の可能性を検討し、ニーズに応じた規模とする。
施設(建物)は「 <b>維持</b> 」	転用	行政需要が低下傾向にある機能の廃止や、機能の他施設への集約化や複合化によって、施設(建物)に <b>余剰スペース</b> が <b>創出</b> される場合、他の行政機能へ <b>転用</b> する。
	(維持し)売却・譲渡・貸付	行政需要が低下傾向にある機能の廃止や、機能の他施設への集約化や複合化によって、施設(建物)に <b>余剰スペース</b> が <b>創出</b> される場合、民間事業者等へ <b>売却・譲渡・貸付</b> を行う。
	集約化(する側)	行政需要が低下傾向にある機能の一部廃止や低利用なスペース、使い方の改善が必要なスペースがあり、施設(建物)に <b>余剰スペースが創出</b> され、同種の機能を集約した方がより効率的・効果的な行政サービスの提供が見込まれる場合は、 <b>集約化</b> を行う。
	複合化(する側)	行政需要が低下傾向にある機能の一部廃止や低利用なスペース、使い方の改善が必要なスペースがあり、施設(建物)に <b>余剰スペースが創出</b> され、異種の機能を複合した方がより効率的・効果的な行政サービスの提供が見込まれる場合は、 <b>複合化</b> を行う。
	維持 もしくは 維持(見直し)	今後も継続した行政需要が見込まれる場合は、施設(建物)は <b>維持</b> したうえで、日常的な点検や修繕に加え、計画的な保全改修を実施する。 利用状況やコスト面で課題を抱えている場合は、 <b>維持(見直し)</b> とし利用向上や効率化に向けて積極的に取り組む。

## ○小分類ごとの方針

※「延床面積が100㎡未満」の主な施設は数に含んでいない。

※「普通財産」、「一部事務組合の施設」は対象外

※方針や説明は令和8年5月時点の検討状況を記載(計画改訂時期となる令和9年3月までに時点修正を加える)

大分類	中分類	小分類	包含する施設	数	方針	説明(令和8年度5月時点)
市民文化系 施設	集会施設	集会施設	生涯学習市民センター等(楠葉、津田、菅原、さだ、牧野、御殿山、南部、情報プラザ、交流センター、牧野北分館) 枚方公園青少年センター サプリ村野NPOセンター	12	維持 複合化(する側)	・築40年前後の施設(建物)が多く、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・令和6年度利用率は50%~60%の施設が多い。 ・今後の利用状況によっては、機能集約や他機能の受け入れを検討する。
	文化施設	文化施設	総合文化芸術センター本館 総合文化芸術センター別館	2	維持	・施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・総合文化芸術センター別館について、令和6年度利用率が40%程度であり、利用向上に向けて取り組む。また、今後の利用状況によっては、他機能の受け入れを検討する。
社会教育系 施設	図書館	図書館	さだ、御殿山、香里ヶ丘、菅原、中央、津田、楠葉、牧野、市駅前	9	維持 集約化(する側) 複合化(する側)	・築40年前後の施設(建物)が多く、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方(平成29年5月)」に記載のある利用圏域等を踏まえ、機能の集約化を検討する。 ・今後の利用状況によっては、他機能の受け入れを検討する。
		図書館分室	宮之阪、香里園、氷室、枚方公園、藤阪、村野	6	維持 集約化(される側)	・築40年前後の施設(建物)が多く、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方(平成29年5月)」に記載のある利用圏域等を踏まえ、機能の集約化を検討する。
	博物館等	博物館等	旧田中家鋳物民俗資料館 枚方宿鍵屋資料館	2	維持	・歴史的建造物であることから、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。
スポーツレクリエーション 施設	スポーツ施設	スポーツ施設	サプリ村野スポーツセンター 伊加賀スポーツセンター 渚市民体育館 総合スポーツセンター	4	維持	・施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・令和6年度利用率は体育館で概ね90%を超えており、グラウンドやテニスコートでは概ね70%を超えている。
	レクリエーション施設	レクリエーション施設	野外活動センター	1	維持(見直し)	・当面の間は、施設(建物)は「維持」する。 ・「野外活動センターのリニューアルに向けた対応方針(中間報告)(令和7年12月)」に記載のある「優先的に検討すべき課題」の解決を図る。

大分類	中分類	小分類	包含する施設	数	方針	説明(令和8年度5月時点)
産業系施設	産業系施設	産業系施設	地域活性化支援センター	1	維持(見直し)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輝きプラザきらら内にある施設で、築年数は35年で施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。</li> <li>・令和6年度利用率が50%程度であり、利用向上に向けて取り組む。</li> </ul>
学校教育系施設	学校	小学校	各小学校	44	建替 集約化(する側・される側) 複合化(する側) (廃止後)売却・譲渡・貸付 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の児童・生徒数の推移や施設の老朽度合い等を考慮し、必要な再編を行う。</li> <li>・新たな施設(建物)を建築する場合は、同種機能の集約化や異種機能の複合化を基本とし、教育環境の充実を図る。</li> <li>・再編の対象とならない場合は、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。</li> <li>・平成28年3月の枚方市学校規模等適正化審議会による答申(諮問事項:市立の小学校及び中学校の配置等の適正化に関する事項(将来における適正な配置等について))に記載のある以下の小中学校について、枚方市学校規模等適正化基本方針と整合を図りながら、統合等の検討を進める。</li> </ul> <p>【答申の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①樟葉北小と樟葉小の統合</li> <li>②招提北中と招提中の統合</li> <li>③明倫小と中宮小の統合</li> <li>④山田小と山田東小、交北小及び山田中を含んだ再編</li> <li>⑤西牧野小と小倉小の統合、または西牧野小と磯島小及び渚西中を含んだ再編</li> <li>⑥川越小と開成小の統合</li> <li>⑦東香里小と春日小の統合</li> </ul>
		中学校	各中学校	19	建替 集約化(する側・される側) 複合化(する側) (廃止後)売却・譲渡・貸付 維持	
	単独調理場	伊加賀小、香里小、桜丘小、山田東小、山之上小、小倉小、樟葉西小、樟葉南小、樟葉北小、菅原小、菅原東小、西長尾小、川越小、船橋小、中宮小、津田南小、田口山小、東香里小、氷室小、平野小、牧野小、さだ東小	22	集約化(する側・される側) 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の再編に準じてその都度効果的な配置を検討する。</li> <li>・単体での更新は行わない。</li> <li>・今後の児童・生徒数の推移や、既存調理場の調理能力、配送地域等を考慮したうえで、再編により廃止する学校施設の跡地活用等による完全共同調理場化のシミュレーションなど、効率的かつ安定的に学校給食を提供するための整備方針を定める。</li> </ul>	
	共同調理場	桜丘北小、招提小、藤阪小、さだ西小、長尾小、春日小、第一学校給食共同調理場、第三学校給食共同調理場	8	集約化(する側・される側) 維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の再編に準じてその都度効果的な配置を検討する。</li> <li>・今後の児童・生徒数の推移や、既存調理場の調理能力、配送地域等を考慮したうえで、再編により廃止する学校施設の跡地活用等による完全共同調理場化のシミュレーションなど、効率的かつ安定的に学校給食を提供するための整備方針を定める。</li> </ul>	
	教育文化センター	教育文化センター	1	維持(見直し) 複合化(する側)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築年数は40年で施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。</li> <li>・令和6年度利用率が20%程度であり、利用向上に向けて取り組む。また、今後の利用状況によっては、他機能の受け入れを検討する。</li> </ul>	

大分類	中分類	小分類	包含する施設	数	方針	説明(令和8年度5月時点)
子育て支援施設	幼保・こども園	幼稚園	香里幼稚園 高陵幼稚園 樟葉幼稚園 田口山幼稚園 枚方幼稚園 蹉だ幼稚園	6	維持	・「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン(後期プラン)(令和4年9月)」に沿った対応し、当面の間は、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・後期プランが令和10年度までであり、それ以降の対応方針について、今後の保育需要を見定めたくえで公立施設の存廃を含めた検討を行う。
		保育所	禁野保育所 香里団地保育所 山田保育所 菅原保育所 藤田川保育所 楠葉野保育所 枚方保育所	7	維持	・「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン(後期プラン)(令和4年9月)」に沿った対応し、当面の間は、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・後期プランが令和10年度までであり、それ以降の対応方針について、今後の保育需要を見定めたくえで公立施設の存廃を含めた検討を行う。
		小規模保育施設	楠葉なみき小規模保育施設 こうりょう小規模保育施設 たのくちやま小規模保育施設 ひらかた小規模保育施設 さだ小規模保育施設	5	維持	・「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン(後期プラン)(令和4年9月)」に沿った対応し、当面の間は、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・後期プランが令和10年度までであり、それ以降の対応方針について、今後の保育需要を見定めたくえで公立施設の存廃を含めた検討を行う。
		臨時保育室	渚西臨時保育室(元渚西保育所) 蹉だ西臨時保育室(元蹉だ西幼稚園)	2	維持	・「就学前の教育・保育施設に係るひらかたプラン(後期プラン)(令和4年9月)」に沿った対応し、当面の間は、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・後期プランが令和10年度までであり、それ以降の対応方針について、今後の保育需要を見定めたくえで公立施設の存廃を含めた検討を行う。
	幼児・児童施設	留守家庭児童会室	各留守家庭児童会室	44	維持 建替	・小学校の再編の方向性に準じる。 ・余裕教室が活用できる場合は、余裕教室での運営を検討していく。 ・建替えや増築が必要となる場合は、その都度必要性の精査を行う。 ・「枚方市留守家庭児童会室個別施設計画(令和8年3月)」をもとに取組を進める。
		親子教室	保健所別館(親子教室棟)	1	維持	・築年数は35年で施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・より良い条件の施設があれば、現在の機能を他施設へ移管することも検討する。

大分類	中分類	小分類	包含する施設	数	方針	説明(令和8年度5月時点)
保健・衛生・福祉施設	高齢福祉施設	高齢福祉施設	総合福祉センター 老人福祉センター楽寿荘 つどいの郷 中宮(老人作業所)	3	維持(見直し)	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合福祉センターは築年数が52年、令和6年度利用率が35%程度であり、利用向上に向けて取り組む。</li> <li>老人福祉センター楽寿荘は築年数が67年、令和6年度利用率が35%程度。相当の築年数が経過していることや利用状況の観点から、老人福祉センターとしての施設の在り方や民間活力の活用を検討するとともに、築年数に応じて集約化や複合化の検討を進める。</li> <li>つどいの郷 中宮は築年数49年、令和6年度利用率が90%程度。</li> </ul>
	障害福祉施設	障害福祉施設	障害者社会就労センター	1	維持(見直し)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市としての機能の廃止も視野に入れ、在り方について検討を進める。</li> <li>機能を廃止した場合の施設(建物)及び跡地の活用についても検討を進める。(土地は借地)</li> </ul>
	児童福祉施設	児童福祉施設	市立ひらかた子ども発達支援センター	1	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>築年数は8年で施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。</li> <li>令和6年度の利用率は定員に対して85%程度。</li> </ul>
	保健衛生施設	保健施設	保健所	1	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧保健センターであった施設(建物)の改修工事を施し、現在使用している。</li> <li>築年数は40年で施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。</li> </ul>
		衛生施設	やすらぎの杜	1	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>築年数は19年で施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。</li> </ul>
	介護関係施設	介護関係施設	特別養護老人ホーム デイサービスセンター 総合福祉会館(ラポールひらかた)デイサービスセンター くずは北デイサービスセンター	4	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>当面の間は、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。</li> <li>「くずは北デイサービスセンター」は機能集約に向けた検討を進める。</li> </ul>
	その他保健・衛生・福祉施設	その他保健・衛生・福祉施設	総合福祉会館(ラポールひらかた)シルバー作業所	2	維持(見直し) 集約化(する側) 複合化(する側)	<ul style="list-style-type: none"> <li>築年数はいずれも30年前後であり、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。</li> <li>総合福祉会館(ラポールひらかた)の令和6年度利用率は35%程度で、利用向上に向けて取り組む。また、今後の利用状況によっては、機能集約や他機能の受け入れを検討する。</li> </ul>

大分類	中分類	小分類	包含する施設	数	方針	説明(令和8年度5月時点)
行政系施設	庁舎等	庁舎系施設	市庁舎 市庁舎分館 第2分館 第3分館(元市民会館) 庁舎(ステーションヒル枚方) 輝きプラザきらら 土木部中部別館 穂谷川清掃工場(環境政策課) 北部別館 枚方市役所分室 サプリ村野	11	建替 集約化(する側・される側) 複合化(する側・される側) 維持	・「市庁舎」、「市庁舎分館」、「第2分館」、「第3分館(元市民会館)」の施設(建物)は新庁舎整備に伴い廃止する。 ・その他の施設は、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行うが、今後の利用状況によっては、機能の集約化や他機能の受け入れを検討する。 ・「土木部中部別館」の土地は借地である。
		支所系施設	津田支所 北部支所 香里ヶ丘支所	3	維持 複合化(される側)	・香里ヶ丘支所は築20年程度であるが、土地・建物ともに市所有ではない。 ・津田支所や北部支所は築年数が50年を超えている。 ・当面の間は、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行っていくが、施設の状態を踏まえ他施設への移管を検討する。
		その他庁舎系施設	職員会館 サンプラザ1号館201号パスポートセンター サンプラザ1号館201号室(健康福祉政策課) サンプラザ1号館枚方市役所分室 サンプラザ1号館502号室(市民税課) サンプラザ1号館502号室(人権政策課) 消費生活センター(ステーションヒル枚方) 埋蔵文化財整理作業施設(山田分室)	8	(廃止後)売却・譲渡・貸付 集約化(される側) 複合化(される側)	・「職員会館」の施設(建物)は新庁舎整備に伴い廃止する。 ・サンプラザ1号館の区分所有は枚方市駅周辺再整備の対象であり、今後も必要な機能は他施設へ移管する。また、再開発後の民間施設のフロア保有は必要最小限とする。 ・埋蔵文化財整理作業施設(山田分室)は他の文化財収蔵機能との集約化を行う。
	その他行政系施設	倉庫系施設	磯島倉庫 春日野倉庫 消防倉庫兼車庫 朝日丘備蓄倉庫 サダ東プレハブ文化財収蔵庫 元山田幼稚園施設文化財収蔵庫	6	維持 集約化(する側・される側)	・各倉庫は築年数が40年程度であり、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・朝日丘備蓄倉庫など、点在している防災倉庫について、枚方市災害時備蓄方針に基づき、旧中宮北小学校跡地へ設置予定の物資集積拠点も含め、集約化に向けた検討を行う。 ・文化財収蔵庫は他の文化財収蔵機能との集約化を行う。
		その他行政系施設	地域防災センター	1	維持(見直し)	・本庁舎が使用不可となった際の臨時災害対策本部を担う。 ・輝きプラザきらら内にある施設で、築年数は35年で施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・貸室としての利用率は低く、「枚方市立地域防災センター条例」に基づき、平時の利活用を検討していく。

大分類	中分類	小分類	包含する施設	数	方針	説明(令和8年度5月時点)
公営住宅	公営住宅	公営住宅	津田元町住宅 津田北町住宅	2	維持	・築年数はいずれも30年前後であり、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・令和6年度の入居率はいずれも90%以上。
供給処理施設	供給処理施設	清掃工場等	東部清掃工場 穂谷川清掃工場 希釈放流センター 一般廃棄物最終処分場排水処理施設	4	維持	・東部清掃工場の施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・穂谷川清掃工場第3プラントは、令和7年度末をもって稼働停止し、一部をリサイクルセンターとして6月から活用していく。 ・希釈放流センターの施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行っていくが、し尿及び汚泥処理について、広域処理の検討を進める。
病院財産	病院財産	病院財産	市立ひらかた病院	1	維持	・築年数は13年で、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。
その他 公用財産	その他 公共施設	自動車 駐車場	岡東町自動車駐車場	1	維持	・築年数は34年で、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・今後の社会情勢や利用状況を踏まえ、施設規模などの検討を行う。
		自転車 駐車場	各自転車駐車場	10	維持	・築年数は概ね20年～40年で、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・今後の社会情勢や利用状況を踏まえ、施設規模などの検討を行う。
		自転車 保管場所	西牧野自転車保管場所	1	維持(見直し)	・築年数は26年で、施設(建物)は「維持」し、必要な改修を行う。 ・自転車の収容可能台数に対して20%程度の収容率のため、施設規模の縮小や移設なども含め検討する。

257

## 公共施設の適正配置に係る将来ビジョン（案）

人口減少が進む将来の公共施設のあるべき姿を見定め、最適配置に向けたロードマップとするとともに、概ね40年後のまちの姿を描きます。

区分	地域施設	広域施設
区分説明	以下のすべてにあてはまる公共施設 ・市民へのサービスの対象範囲が各地域に限定される ・同種の施設が市内に一定数存在する ・日常的な市民の利用が想定される	以下のいずれかにあてはまる公共施設 ・市民へのサービス対象範囲が市全域または比較的広域 ・同種の施設が市内に少数存在する ・日常的な市民利用が想定されない
主な施設	集会施設、図書館(分室含む)、スポーツ施設、小学校、中学校、幼保・こども園(幼稚園、保育所、小規模保育施設、臨時保育室)、留守家庭児童会室、支所等、自転車駐車場	文化施設、博物館等、レクリエーション施設、産業系施設、調理場、高齢福祉施設、障害福祉施設、児童福祉施設、保健施設、衛生施設、介護関係施設、本庁舎等、倉庫、公営住宅、清掃工場等、病院財産、自動車駐車場、自転車保管場所
考え方	「将来ビジョンの基本的な考え方」に加え、都市計画マスタープランに示される7つの地域区分を踏まえ最適配置について検討する。	「将来ビジョンの基本的な考え方」のとおり

### <将来ビジョンの基本的な考え方>

#### 機能のビジョン

今後の人口構成や市民ニーズの変化、民間サービスの状況に応じ、教育環境や保育環境の適正化や、市民活動の活性化が図られる機能を備えるなど柔軟に対応していく。また、今後の人口規模や財政状況を踏まえ、単一機能の施設の再編にあたっては、多機能化を図ることにより、必要な機能の確保と最適な施設総量のバランスを保つ。

#### 配置のビジョン

各施設利用者のアクセス面に配慮した配置とする。また、市有建築物のみならず国や府、民間企業等の所有する建築物の活用も含め総合的に検討する。「地域施設」においては、都市計画マスタープランに示される7つの地域区分を踏まえ最適配置について検討する。



## 今後の公共施設のあり方について（アンケート結果）

調査期間：令和7年7月1日～7月31日

※「枚方市都市計画マスタープラン」および「枚方市立地適正化計画」の改定に関する市民アンケートにて実施

対象：市民（住民基本台帳から満18歳以上）

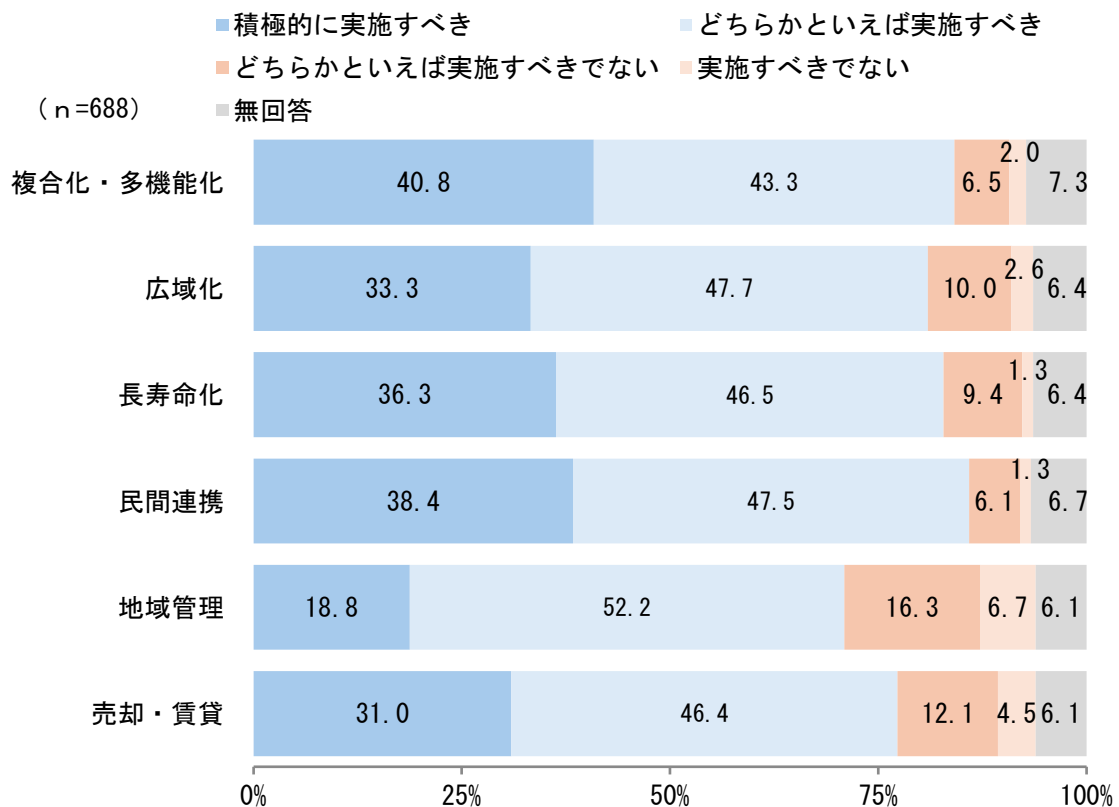
回答数：688

### 【将来に向けた公共施設のあり方についての考え】

※実施すべき = 「積極的に実施すべき」 + 「どちらかといえば実施すべき」の合計

実施すべきでない = 「どちらかといえば実施すべきでない」 + 「実施すべきでない」の合計

- 公共施設のあり方について、いずれについても実施すべきとする意見が7割以上を占めている。
- 全般的に「どちらかといえば実施すべき」の割合が最も多く、次いで「積極的に実施すべき」となっている。
- 年代別、地域別の違いはあまりみられない。



## 市民の公共施設に対する意識に関するアンケート

本市では、公共施設の老朽化による更新時期の集中や維持管理費用の確保といった課題が予測される中、平成 28 年度に策定した「枚方市公共施設マネジメント推進計画」とその実行計画として令和 2 年度に策定した「枚方市公共施設マネジメント推進計画個別施設計画（総合編）」に基づき、公共施設の長寿命化の促進や施設総量（施設数や面積）の最適化に向けた取組を進めているところです。

この度、令和 8 年度の改訂にあたり、市民の皆様の公共施設に対する意識を調査し、今後の公共施設マネジメントの推進の参考にすることを目的として、このアンケートを実施しました。

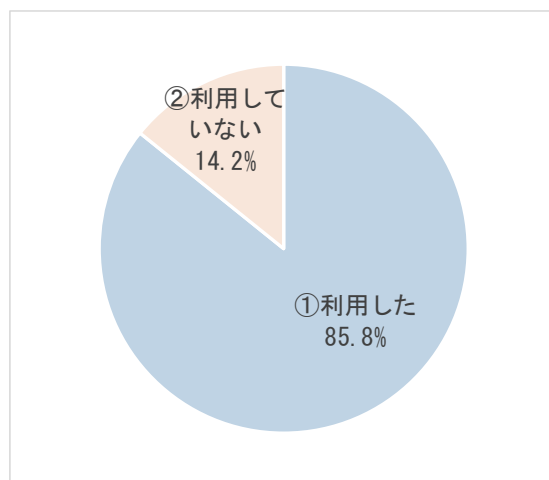
調査期間：令和 7 年 7 月 22 日～8 月 6 日

対 象：市政モニター

回 答 数：380

問 1. 過去 1 年間に於いて公共施設（市役所、図書館、生涯学習市民センター、体育施設など）を利用しましたか。

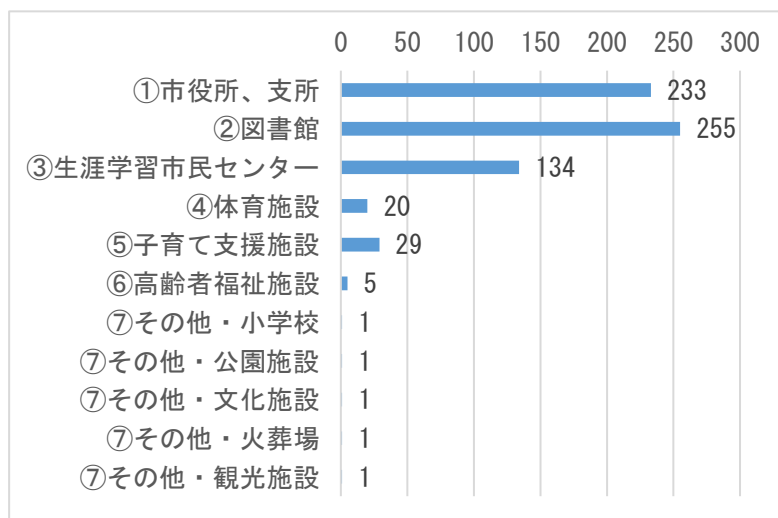
選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①利用した	326	85.8
②利用していない	54	14.2
合 計	380	



【問 1 で「①利用した」を選択した方にお聞きします。】

問 2. 利用された施設について、主なものを 3 つあてはまる番号を選んでください。

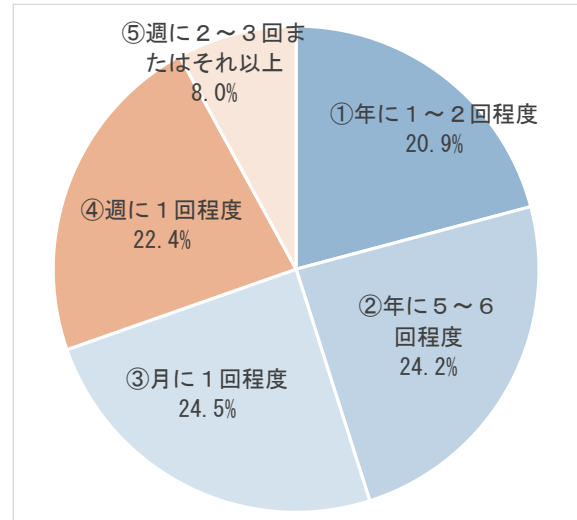
選択項目	回答数 (件)
①市役所、支所	233
②図書館	255
③生涯学習市民センター	134
④体育施設	20
⑤子育て支援施設	29
⑥高齢者福祉施設	5
⑦その他・小学校	1
⑦その他・公園施設	1
⑦その他・文化施設	1
⑦その他・火葬場	1
⑦その他・観光施設	1



【問1にて「①利用した」とお答えいただいた方お聞きします。】

問3. 過去1年間の公共施設の利用頻度はどのくらいでしたか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①年に1～2回程度	68	20.9
②年に5～6回程度	79	24.2
③月に1回程度	80	24.5
④週に1回程度	73	22.4
⑤週に2～3回またはそれ以上	26	8.0
合計	326	



#### 【考察】

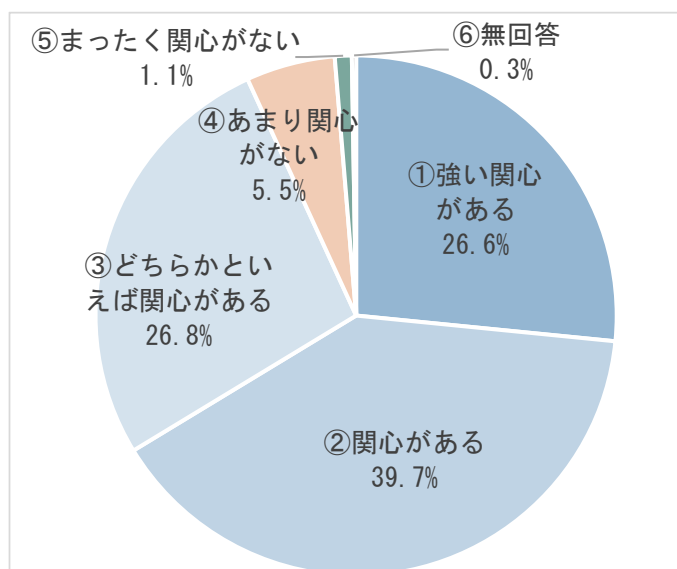
問1から問3までの公共施設の利用頻度等に関する設問では、380人の回答者のうち326人(85.8%)が過去1年間において公共施設を利用したという回答でした。そのうち、問3で「⑤週2～3回またはそれ以上」もしくは「④週に1回程度」と回答された方は、「②図書館」や「③生涯学習市民センター」、「④体育施設」のいずれかを利用されていました。また、「①年に1～2回程度」と回答された方は「市役所、支所」と回答された方が多くいらっしゃいました(68人のうち52人)。

また、過去1年間において公共施設を利用された方のうち、「①年に1～2回程度」、「②年に5～6回程度」、「③月に1回程度」、「④週に1回程度」と回答された方がそれぞれ同程度の人数でした。

問4以降は公共施設マネジメントの推進に関する設問となるため、こういった公共施設を利用されている方からの回答かにも注視していく必要があります。

問 4. 近い将来、全国的に多くの公共施設が老朽化のため、建替えの時期を迎えます。しかし、人口減少の進行等により、多くの自治体において財政状況が厳しく、全ての施設の建替えは厳しい状況です。この課題について、関心がありますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①強い関心がある	101	26.6
②関心がある	151	39.7
③どちらかといえば関心がある	102	26.8
④あまり関心がない	21	5.5
⑤まったく関心がない	4	1.1
無回答	1	0.3
合計	380	



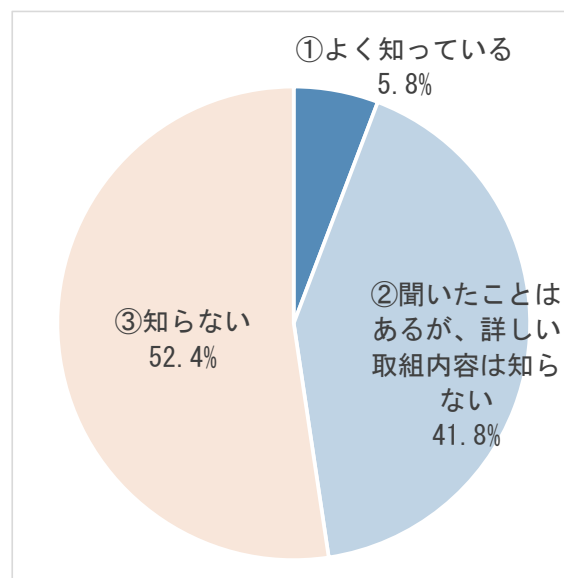
#### 【考察】

「①強い関心がある」、「②関心がある」、「③どちらかといえば関心がある」と回答された方の合計は93.1%となり、多くの方が公共施設の老朽化や建替え関心があるという結果になりました。その内訳として、問1で過去1年間において公共施設を利用したことがあると回答した326人のうち309人(94.8%)について関心があると回答されました。また、同設問にて過去1年間において公共施設を利用したことがないと回答した54人のうち45人(83.3%)について関心があると回答されました。公共施設の利用有無に関わらず、公共施設の老朽化や建替えについて多くの方の関心があることがうかがえます。

また、問2で比較的用户数が多かった「①市役所、支所」、「②図書館」、「③生涯学習市民センター」の利用者ごとに「①強い関心がある」、「②関心がある」、「③どちらかといえば関心がある」と回答された方の割合は、「①市役所、支所」では233人のうち222人(95.3%)、「②図書館」では255人のうち241人(94.5%)、「③生涯学習市民センター」では134人のうち127人(94.8%)であり、施設ごとに大きな違いは見られませんでした。

問 5. 「枚方市公共施設マネジメント推進計画」や「個別施設計画（総合編）」では、公共施設の長寿命化の促進や施設総量（施設数や面積）の最適化に向けて、建築物ごとの維持管理にかかるコストや利用状況等に関する情報をまとめた施設カルテの作成や、施設評価の実施、小学校の統合などに取り組んできました。このことについてどの程度ご存じですか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①よく知っている	22	5.8
②聞いたことはあるが、詳しい取組内容は知らない	159	41.8
③知らない	199	52.4
合計	380	



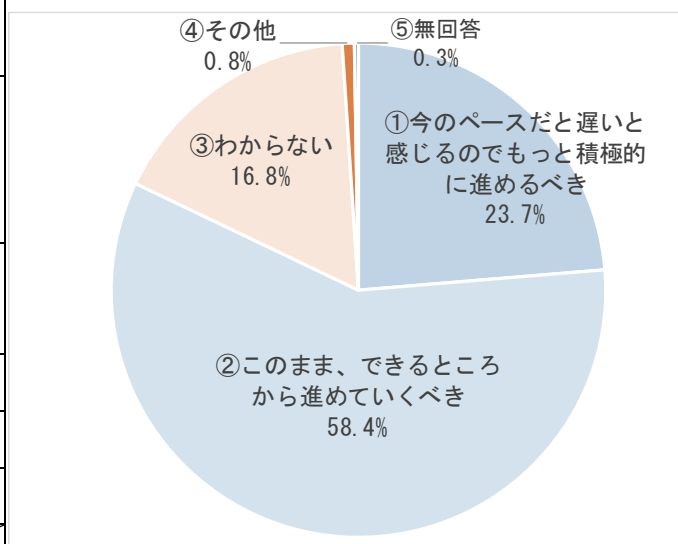
#### 【考察】

市の公共施設マネジメントの計画や取組については、52.4%の方が「③知らない」という回答でした。「②聞いたことはあるが、詳しい取組内容は知らない」と回答された方と合わせると94.2%の方が「知らない」という結果になりました。

公共施設の長寿命化や施設総量（施設数や面積）の最適化は市民生活との関連が大きく、また、問4にて公共施設の老朽化や建替えについて多くの方の関心があることを踏まえ、今後の取組を市民の方に知っていただく機会について検討していく必要があります。

問 6. この間、前設問の取組を進めているものの、人口減少等の進行により市民一人当たりの延床面積及び維持管理費は増加傾向にあります。今後、公共施設の総量（施設数や面積）の最適化についてどのようなペースで進めていくと良いと考えますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
①今のペースだと遅いと感じるのでもっと積極的に進めるべき	90	23.7
②このまま、できるところから進めていくべき	222	58.4
③わからない	64	16.8
④その他	3	0.8
⑤無回答	1	0.3
合計	380	



〈その他の主なご意見〉

- ・施設数や延床面積は減らさずに維持していくことが、健康寿命の延伸につながり、市民の満足度も維持できると思います。健康寿命が1年伸びると福祉の費用が2～3万円減る、という調査報告があったと思います。
- ・設問の意図がよく理解できないです。現状まずいなら住民の意見関係なく早く対応すべきではないですか。遅れるとさらに住民への負担が掛かると推測されます。

#### 【考察】

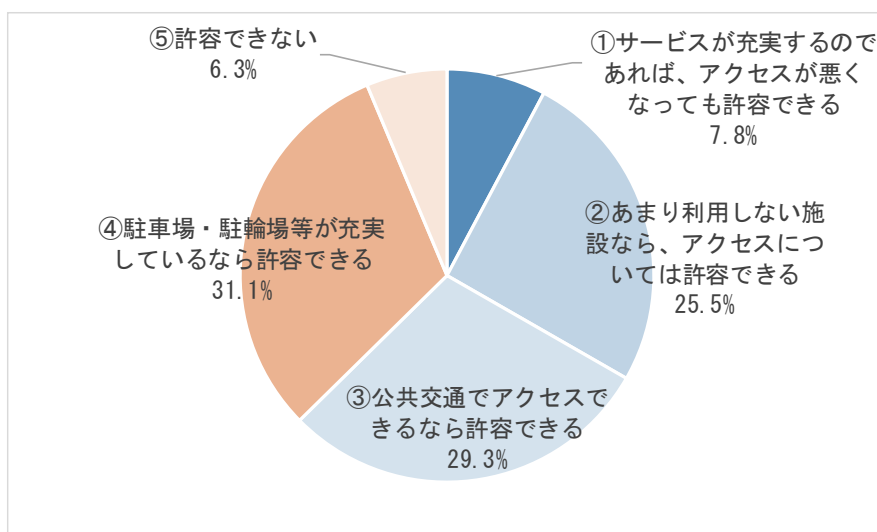
「②このまま、できるところから進めていくべき」という回答が最も多く、58.4%を占める結果となりました。

また、問4で公共施設の老朽化や建替えについて「①強い関心がある」「②関心がある」と回答され、かつ、問5で市の公共施設マネジメントの計画や取組について「①よく知っている」と回答された19人のうち15人（78.9%）の方が「①今のペースだと遅いと感じるのでもっと積極的に進めるべき」と回答されており、関心があり、計画の内容をよく知っている方にとって積極的に進めてもらいたいと考えていらっしゃる事がうかがえます。

問 7. 公共施設の総量（施設数や面積）の最適化を進めるうえで、施設の統合、廃止、集約等により、サービスの内容は充実しても、結果的に今より遠くなる可能性があります。このことについて、どの程度許容できますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

選択項目	回答数(人)	割合 (%)
①サービスが充実するのであれば、アクセスが悪くなっても許容できる	29.5*	7.8
②あまり利用しない施設なら、アクセスについては許容できる	97	25.5
③公共交通でアクセスできるなら許容できる	111.5*	29.3
④駐車場・駐輪場等が充実しているなら許容できる	118	31.1
⑤許容できない	24	6.3
合計	380	

※択一選択の設問ですが複数選択がありましたので、人数を按分しています。



#### 【考察】

「④駐車場・駐輪場等が充実しているなら許容できる」や「③公共交通でアクセスできるなら許容できる」、「②あまり利用しない施設なら、アクセスについては許容できる」と回答された方が多く、93.7%の人が公共施設の統合、廃止、集約等の結果、今より遠くなっても、公共交通機関や交通用具を使用してアクセスできるのであれば許容できるという結果となりました。

一方で、「⑤許容できない」と回答された方も6.3%いらっしゃることから、公共施設の統合、廃止、集約等の際には、可能な限り今より遠くならない配慮が必要です。また、「⑤許容できない」について、問2で比較的用户数が多かった「①市役

所、支所」、「②図書館」、「③生涯学習市民センター」の利用者ごとに集計したところ「①市役所、支所」では233人のうち14人(6.0%)、「②図書館」では255人のうち17人(6.7%)、「③生涯学習市民センター」では134人のうち14人(10.4%)であり、生涯学習市民センターを利用されている方が多く回答される傾向にありました。

#### 【まとめ】

今回のアンケートでは、過去1年間において公共施設を利用したと回答された方が多く、公共施設の利用者の意見を伺うことができました。

公共施設の老朽化や建替えに関心がある方が多いものの、平成28年度に策定した枚方市公共施設マネジメント推進計画やその後の公共施設マネジメントに係る市の取組に関しては、「知らない」と回答された方が多かったことから、今後の取組を市民の方に知っていただく機会について検討していく必要があります。

公共施設の総量(施設数や面積)の最適化にあたっては、今後見込まれる人口減少の進行等により、財政状況が厳しくなることが予測され、全ての施設の建替えは難しい状況です。今後、公共施設の統合、廃止、集約等は避けることのできないものだと考えておりますが、そのなかでもサービス内容の充実や利用者のアクセス面の考慮などを踏まえて令和8年度の計画改訂に向けて進めてまいります。